

第114期中間報告書

(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

堀田丸正株式会社

証券コード：8105

ごあいさつ



代表取締役社長 **大西雅美**

投資家の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、米国の政治動向や北朝鮮情勢への警戒感など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

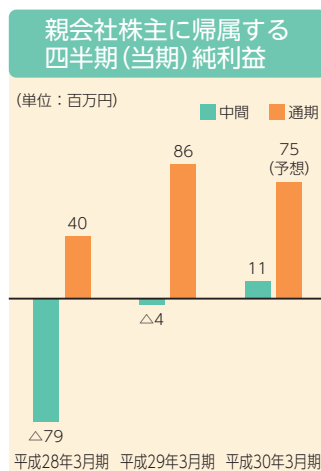
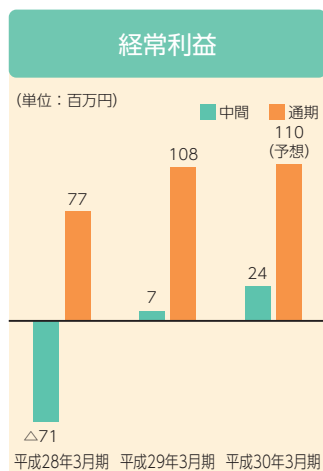
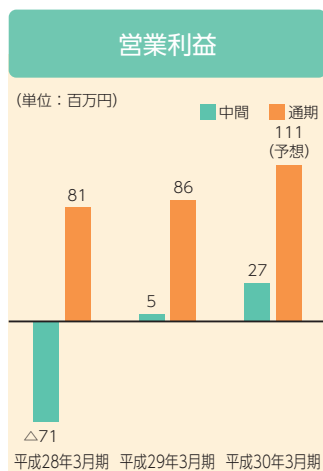
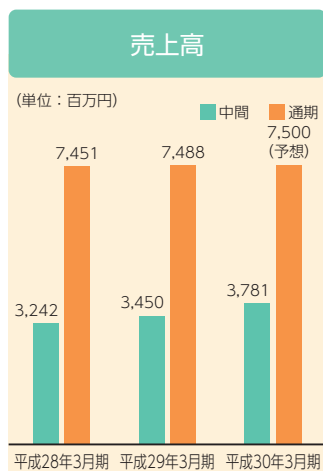
このような事業環境のもと、当社グループは、平成29年6月にRIZAPグループ株式会社の子会社となり、平成29年7月には洋装事業において百貨店取引を中心とした婦人服卸の馬里邑事業部を新設しました。平成28年8月に事業譲受したイエリデザイン事業部や馬里邑事業部が寄与したことにより、売上高は37億81百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益は27百万円（前年同四半期比366.3%増）、経常利益は24百万円（前年同四半期比211.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円）となりました。

このような状況のもとにあって当社グループは、中期目標に基づき、「既存事業の効率化」「人的基盤の強化」「新規開発・M&A」を推進することにより、今後も安定的な利益確保を目指してまいります。

投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成29年12月

業績ハイライト



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 平成29年9月30日	前連結会計 年度末 平成29年3月31日
流動資産	5,752	3,503
固定資産	944	957
資産合計	6,696	4,460
流動負債	1,990	1,568
固定負債	51	69
負債合計	2,042	1,638
純資産合計	4,654	2,821
負債・純資産合計	6,696	4,460

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△437	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	58	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,600	△130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,221	△150
現金及び現金同等物の期首残高	488	815
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,710	664

セグメント情報

意匠燃糸事業

売上高 **995** 百万円
セグメント別
売上高比率 **26.3** %



意匠燃糸事業は、平成28年8月に事業譲受したイエリデザイン事業部が寄与し売上高、営業利益ともに伸びました。国内既存事業は、大手アパ

レル向けの販売が改善し堅調に推移、中国市場は欧州向けの取引が減少しましたが、中国国内向け、日本市場向けが伸び増収増益となりました。この結果、売上高9億95百万円（前年同四半期比13.4%増）、営業利益は67百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

和装事業

売上高 **983** 百万円
セグメント別
売上高比率 **26.0** %



和装事業は、専門店取引は堅調に推移しましたが、百貨店取引は店舗閉鎖の影響や市況の悪化により低調に推移、和装小物の量販店取引も大手

得意先の不振により売上高は減少いたしました。販管費の削減を行い改善に努めました。この結果、売上高9億83百万円（前年同四半期比10.1%減）、営業損失は16百万円（前年同四半期は営業利益2百万円）となりました。

洋装事業

売上高 **1,521** 百万円
セグメント別
売上高比率 **40.2** %



洋装事業は、平成29年7月に新設した馬里邑事業部が寄与し売上高、営業利益ともに大幅に伸びました。既存事業の百貨店取引は店舗閉鎖の影

響や市況の悪化により低調に推移しましたが、専門店取引は堅調に推移、量販店取引はベビー子服の大手得意先が好調に推移し売上高は増加いたしました。また、不採算部門の閉鎖、粗利率の改善、販管費の削減により営業利益は大きく改善いたしました。この結果、売上高15億21百万円（前年同四半期比28.7%増）、営業利益は77百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

寝装事業

売上高 **280** 百万円
セグメント別
売上高比率 **7.4** %



寝装事業は、ギフト販売は順調に推移しましたが、量販店・専門店取引は大手得意先の不振により売上高は減少いたしました。粗利率の改善、販

管費の削減を行いました。この結果、売上高2億80百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益は12百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

売上高合計

3,781 百万円

その他

売上高 **2** 百万円
セグメント別
売上高比率 **0.1** %

トピックス

第三者割当増資によりRIZAPグループ入り

当社はRIZAPグループ株式会社と資本業務提携契約を締結し、平成29年6月28日に連結子会社となりました。第114期（新事業年度）を成長戦略推進のための基盤づくりの年と位置付け、RIZAPグループのブランディングやマーケティングに関するノウハウを活かし、商品力強化、販売力強化、業務再構築等に取り組み、事業基盤の拡大を目指してまいります。

RIZAPグループは、川上である素材開発から企画・生産、川下である販売に至るまでのプロセスを一貫して行うSPAモデル（製造小売業としてのビジネスモデル）のグローバル規模での構築を推進しております。当社はSPAモデル構築における重要な役割を担い、今後、積極的な設備投資を含む、海外生産体制の強化を推進してまいります。



馬里邑事業部の新設

平成29年7月1日、百貨店取引を中心とした婦人服卸の馬里邑事業部が発足いたしました。取扱いブランドをご紹介します。

Coco de Mer (ココ・ド・メール)

現代風なデザインの中にエスニック要素を盛り込んだ大人服。

多種多様な加工、独自のカラーリングによりブランドテイストを明確にし、個性と時代の流れを調和させた单品コーディネートブランド。

Catolin (カトリン)

馬里邑の高度な技術と感性により創られた、大人の女性のためのニットブランドです。

それはハイグレードな素材を基本として刺繍等をモチーフに流行に左右されない豊かな表情をもった商品群で構成されます。

馬里邑の主たる販路である百貨店等の店舗販売は、ブランド戦略における重要なマーケットであることから、百貨店販売を基盤とした販売力の強化を図ってまいります。



馬里邑バザール

馬里邑事業部は東京五反田TOCビルにて馬里邑バザールを2月、4月、6月、10月、12月の年5回開催いたします。

婦人服を中心としたバザールには毎回2千人以上を超える集客があり大盛況です。

当社の取り扱う婦人服の他に子供服や和装小物なども新たに出展し、更にバラエティに富んだバザールとなっております。

ホームページ上に開催日を掲載しておりますので、招待状をお持ちでなくてもお気軽にご来場いただき、この機会に堀田丸正を知っていただきますようお願い申し上げます。



●会社概要 (平成29年9月30日現在)

会社名	堀田丸正株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋室町4丁目1番11号 Tel.03-3548-8121 (代表)
設立	1933年2月 (創業1861年)
上場	1974年4月 (東京証券取引所 証券コード:8105)
代表者	代表取締役社長 大西 雅美
事業内容	和装品、宝飾品、和装小物等の卸売販売、 婦人洋品等の製造・卸売販売、寝装品等の 卸売販売及び意匠燃糸の製造・卸売販売、 横ニットの企画・製造・販売
従業員数	連結 150名 (他販売員等 133名) 単体 120名 (出向社員等 122名)
資本金	2,937百万円
決算期	3月31日

●役員一覧 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長	大西 雅美
取締役	矢部 和秀
取締役	下野 隆充
取締役	井上 徳彦
社外取締役	小島 茂
社外取締役	大塚 一暁
常勤監査役	丹下 勝視
社外監査役	水野 孝平
社外監査役	金子 茂男

●株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式数	60,000千株
発行済株式の総数	59,640千株 (自己株式3,395千株含む)
株主数	9,150名

●大株主 (上位10名) の状況 (平成29年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
RIZAPグループ株式会社	35,000	58.69
堀田丸正株式会社	3,395	5.69
中村 雅幸	2,962	4.97
日本証券金融株式会社	2,376	3.99
株式会社ヤマノホールディングス	1,937	3.25
松井証券株式会社	1,340	2.25
中村 浩美	817	1.37
株式会社ヤマノネットワーク	425	0.71
株式会社三井住友銀行	290	0.49
J P モルガン証券株式会社	139	0.23

●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	毎年次のとおりといたします。 定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公 告して定めた日
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載 いたします。 公告掲載アドレス http://www.pearly-marusho.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合 は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031